

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090900073		
法人名	社会福祉法人 高遠さくら福祉会		
事業所名	グループホーム桜		
所在地	長野県伊那市高遠町勝間222番地		
自己評価作成日	平成28年6月16日	評価結果市町村受理日	平成29年3月21日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社マスネットワーク 医療福祉事業部		
所在地	長野県松本市巾上13-6		
訪問調査日	平成28年9月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今までの自宅での生活と変わらない生活ができるように考え支援しています。家事全般、畑作業等、利用者主体で職員と一緒にしています。その中で、一人ひとりが役割を持つことができている。地域とのつながりを大切に考え、保育園や小学校と交流会、地元行事への参加を積極的に行っています。地元の方に、菊やだるまの作品展を楽しみにして頂けるまでになりました。季節を感じて頂けるように、献立を配慮したり、外出・行事を企画しています。職員も一緒に楽しむことで、安心して頂ける雰囲気作りに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日常の中でつくられる手工芸、菊作り、畑作りは地域の行事、事業の参加につなげられ、地域の一員として暮らす続ける当たり前の生活づくりを大切にしている。男性利用者、職員の少ない中「男子スイーツ会の企画」を実現した。「生きてよかった」と参加者の感想がホーム便りに掲載されている。利用者の何気ないつづやき、思いを大切に実現させる支援を管理者はじめ職員で協力し合っている。事業所は平成14年に開所された特別養護老人ホームに隣接している。そこの経験は、職員研修はじめ災害対策、地域交流事業等多くが事業所で活かされている。法人は、地域の高齢者福祉ニーズに応え平成28年度市内に地域密着型特別養護老人ホームを開設している。開設に伴い職員の移動もあったが、利用者の意向や尊厳を大切に、前向きに安心して日常生活が営めるよう熱心に支援している。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(東)		項目		項目	
項目		取り組みの成果 該当するものに印		取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の		63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
		2. 利用者の2/3くらいが			1. ほぼ全ての家族と
		3. 利用者の1/3くらいが			2. 家族の2/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない			3. 家族の1/3くらいと
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある		64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
		2. 数日に1回程度ある			1. ほぼ毎日のように
		3. たまにある			2. 数日に1回程度
		4. ほとんどない			3. たまに
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が		65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
		2. 利用者の2/3くらいが			1. 大いに増えている
		3. 利用者の1/3くらいが			2. 少しずつ増えている
		4. ほとんどいない			3. あまり増えていない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が		66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
		2. 利用者の2/3くらいが			1. ほぼ全ての職員が
		3. 利用者の1/3くらいが			2. 職員の2/3くらいが
		4. ほとんどいない			3. 職員の1/3くらいが
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が		67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
		2. 利用者の2/3くらいが			1. ほぼ全ての利用者が
		3. 利用者の1/3くらいが			2. 利用者の2/3くらいが
		4. ほとんどいない			3. 利用者の1/3くらいが
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が		68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
		2. 利用者の2/3くらいが			1. ほぼ全ての家族等が
		3. 利用者の1/3くらいが			2. 家族等の2/3くらいが
		4. ほとんどいない			3. 家族等の1/3くらいが
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が			4. ほとんどできていない
		2. 利用者の2/3くらいが			
		3. 利用者の1/3くらいが			
		4. ほとんどいない			

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
ユニット名(西)			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念を共有しています。グループホーム独自の理念はありませんが、介護目標を作り、職員間で共有し日々支援しています。	法人理念をホールに掲載している。事業所理念に付いて職員会議で検討しているが、文章化されていない。職員、法人でも事業所理念の必要性は理解されている。	引き続き事業所の拠所となる理念に付いて職員で話し合い文章化して、運営推進会議、家族会などに提示されていくことを期待したい。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りに参加させて頂いています。畑の作業を手伝って頂いたり、散歩の途中で声を掛けて頂いたりと関係を築いています。地元のお祭りに菊やだるまを製作し出展しています。	畑作りの手伝い、散歩中の声掛けなど地域の方々からの協力がある。菊作りをして菊花展に、だるま作りをしてだるま市に展示、手芸を文化祭に出すなど社会参加している。保育園、小、中、高校との交流、地区の祭りに参加し地域との付き合いを積極的に行っている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症キャラバンメイトとして地域に貢献できるように検討中です。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催し、利用状況や日々の様子を報告しています。率直な意見を頂き、職員間で共有し、サービス向上につなげています。地域の様子や行事についても情報を頂いています。	2カ月毎に開催して、利用者、サービスの実際を報告し、委員から事業所の活動、災害などに関する意見が出され運営に反映されている。主な内容は便りに掲載して関係者に報告している。家族の参加は最近では厳しい状況にあることをうかがった。	事業所に関わる多くの方(消防署、警察署、保育園、学校等、家族)の意見をサービスの向上に活かすため、各会議に出席が得られるよう開催方法を検討され、また、議事録の作成をして閲覧できる取組みを望みたい。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に市の担当者に参加して頂き情報交換をしています。不明な点や困ったケースがあれば直接担当者に相談をしています。	運営推進会議、行事に参加して事業所の実情が理解されている。利用者身元引受人などの相談をしている。市の担当機関が主催する研修会、説明会に参加し協力関係を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>法人内で年1回研修会を開催し、全職員参加しています。</p> <p>玄関が死角になっているので、昼夜施錠している状況です。</p>	<p>法人内の研修に全職員が参加して身体拘束をしないケアにつないでいる。言語を含む身体拘束は行っていないが、死角となっている部分の戸に施錠をしている。施錠解除に向けての話し合いは行われている。</p>	<p>施錠する事に対してのリスク、安全に過ごせるための工夫等に付いて更に話し合いを重ね施錠解除をされていくことを期待したい。</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内で研修会を開催し、全職員参加しています。虐待がないか、管理者が常に確認をしています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>学ぶ機会を設けていない為、理解していない職員が多いと思います。研修内容に組み込んで行けるよう検討していきたいです。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には具体的に細かく説明をしています。不明な点も過去のケースを参考にしながら説明を加えています。</p>		
10	(6)	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>第三者委員やグループホームの要望、苦情相談窓口を設置しています。ホールには利用者、家族、外部の方、どなたでも投函できる意見箱を設置しています。頂いた意見・要望は解決策と共に、広報誌に掲載しています。</p>	<p>行事に合せた家族会、介護計画作成時、面会時など機会ある事に家族の意見を聴く機会を設けている。年1回家族向けのアンケートを行い集約して運営に反映させている。アンケート結果、出された意見・意向への取組に付いて家族に報告している。</p>	
11	(7)	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>会議の場で意見交換を行います。年2回管理者との面談も実施し、その場でも意見や提案を聞くようにしています。現場内で解決できないことは上部へ報告し、法人内の会議でも相談しています。</p>	<p>毎月の職員会議、ミーティングに出された意見、提案は職場内で反映しているが、事業所内で解決できない事は、法人管理者会議に管理者が提案している。ハード面に関する内容等解決につなげている。年2回管理者と面談がある。日常的に管理者、常務理事に相談し易い関係にある。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	年2回(上半期・下半期)能力・業績考課を行い、責任感、知識・技術・チームワーク・企画立案、顧客満足・ケアプラン作成等を評価しています。これらは全てキャリアパス・昇給・賞与等に結びつき、向上心を持って生き生きと働ける職場環境へとつながっています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として、年間研修計画に基づき、職員の育成に努めています。毎月の施設内研修をはじめ、勤続年数、資格取得対象者等、様々な外部研修へ参加して、研修の機会の確保や職員のステップアップへの取り組みとしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管内の研修において意見交換の機会を設けています。他グループホームの職員と勉強会も行い意見交換を行いました。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人と面談をして直接お話をしています。また、家族や居宅のケアマネジャーより情報を頂き、総合的にご本人の意向に添えるように努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご家族と面談をしたり、入所当日までの間に必要に応じて連絡を取り合えるようにし、ご家族の意向に添えるように努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にて得た情報とご本人、ご家族からの意向から、まず必要としている支援を見極めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が手を出し過ぎないように見守り、必要な部分のみ介助を行っています。できる事は積極的にやっていただき、職員も教わる姿勢を大切にしています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは密に連絡を取り合い様子をお伝えしています。行事等にご家族が参加して頂けるように企画し、一緒に過ごす時間を大切にしています。また、面会、外出、外泊を積極的にして頂けるように呼びかけています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係が途切れないように、ご家族にも協力してもらいながら支援しています。	入所前からの関係性を大切にして外出、面会支援をしている。馴染みの方との外出が困難な時には茶会を事業所内で行う工夫している。家族の協力を得ながら外泊、墓参り、美容院に出掛けたりし、孫への手紙、年賀状を出すなど馴染みの人との関係を大切にして支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を見ながら作業や活動に誘っています。利用者間のトラブルもありますが、すぐに職員が間に入るように配慮しています。利用者が他の利用者の世話をやいてくれる姿も見られます。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、必要に応じて相談に乗り、次のサービスにつなげています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケア担当者を中心に一人ひとりの意向の把握をしています。ご自分で上手に思いが伝えられない方もいますが、アセスメントを行い紐を解いています。	担当制を重視して一人ひとりの思いや意向が把握できるよう担当が居室訪問を頻回に行っている。把握された内容は職員間で共有してアセスメントを行っている。更に本人本位の意向に添えるようにひもときシートの学習を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご家族や居宅のケアマネジャーより情報を頂いたり、ご本人よりお話をうかがい把握しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録より読み取り、職員間で情報交換、共有をしています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア担当者を中心にアセスメントを行い、課題の抽出をしています。カンファレンスにはご本人、ご家族にも参加して頂き、意向の確認をしながら介護計画を作成しています。	入所時に暫定計画書の作成をし1ヶ月後アセスメントをして介護サービス計画の作成をし6カ月毎に見直しをしている。家族にはアセスメントの段階から相談をしている。介護サービス計画説明時に家族からの要望はその場で修正している。計画に対する支援状況は毎日記録され定期的にモニタリングが行われている。退院時など変化のある時は都度計画を見直している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入と、介護計画に添っているかの確認を毎日行っています。そこから、出来ていない事を周知したり介護計画の見直しをしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々のニーズに対応できるように努めています。ご本人、ご家族が相談しやすい体制を整えています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の保育園、学校との交流会を数多く行っています。地域のボランティアの方にも環境整備、作業の補助、散歩の付き添いなどご協力頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を継続して受診して頂いています。情報提供をしたり、必要に応じて受診の付き添いも行っています。	本人、家族の意向を重視して入所前からのかかりつけ医となっている。受診は家族が行っている。往診もある。専門医受診時に情報提供の必要のある場合は職員も同行している。一人ひとりのかかりつけ医と情報提供をしよう関係作りをして、緊急時の対応もできる体制を整えている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員は常勤しておりませんが、法人内の特養が隣接しており、そちらの看護師と連携を図っています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中に病院との連絡を密に取り合い、退院に備えています。退院後の生活の相談も行っています。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り介護は行っていません。入所時にご家族へ説明をし理解して頂いています。状態の変化を見ながらその都度ご家族へ伝え、今後について相談をしています。	本人・家族は、入所時に重度化や看取りに関する取組みについて説明を受け理解をしている。体調に変化が生じた時には家族に説明して今後について相談をしている。最近、利用者、家族、職員から看取りに関する要望、意見が出され看取りに向けた取組みを検討している。職員は看取り研修を受けている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が救命救急講習を受講しています。法人内でも定期的に研修会を開催し、参加しています。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、地元の消防署員にも参加して頂き防災訓練を実施しています。内1回は夜間に実施しています。地元勝間地区とは防災協定、行方不明者捜索協定を締結しています。	6月に日中火災想定訓練を実施。利用者の避難訓練も行った。11月に夜間想定訓練を予定している。8月に安全対策委員会の研修会に全職員が参加している。自然災害が多発傾向にあり運営推進会議にも話題にされ『非常時災害マニュアル』の見直しを進めている。	『非常時災害マニュアル』の見直しをして火災の他に自然災害全般(地震、豪雪、豪雨、水害、落雷等)に適応した内容で、職員に解り易く周知され現状に即した内容のマニュアルづくりをされ活用されることを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎年接遇研修を開催し、全職員参加しています。不適切な対応については、会議等で話し合い、周知しています。	接遇研修を受け、挨拶、会話など誇りやプライバシーを損ねない対応が出来るよう努めている。不適切な対応については職員で話し合い確認合っている。入浴、排泄介護は同性介護に配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が選択しやすいような聞き方を心掛けています。思いを口に出来ない方も、アセスメントを通して思いを汲み取れるように努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースで生活できるような支援を心掛けています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時、行事の日には特におしゃれをして頂けるように職員も一緒に服を選びます。女性利用者へはお化粧もします。毎朝のモーニングケアも丁寧に行っています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を献立に取り入れたり、一緒に買い物に行った際に食材を選んで頂いています。食材の買い出し、調理から片付けまで利用者と職員が協力して行っています。	天気の日には、毎日利用者と食材の買物に出掛けたり、準備や片付けを一緒に行っている。毎食後、利用者の感想をメモして職員で共有して食事内容に反映している。誕生日の希望献立、季節行事食、外食などを行っている。夕食、おやつ、行事には職員と一緒に食卓を囲み食事を楽しんでいる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は毎食記録し確認しています。献立は職員が交代で立てていますが、なるべく栄養バランスが良くなるよう、意見を出し合いながら行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアを促し、できる限りご自分でやって頂きます。その後、口腔内を確認し、不十分な部分を介助し清潔保持に努めます。</p>		
43	(16)	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表に記録し、個々の排泄パターンを把握しています。夜間も睡眠の妨げにならないよう配慮しながら、個々に合ったタイミングで声をかけています。</p>	<p>排泄チェック表を付けて一人ひとりの排泄のパターンを把握している。日中の活動や睡眠の妨げにならないよう声掛け、誘導介助等に配慮して行っている。布パンツ利用の方が多く現状維持に努めている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日運動ができるように、アクティビティに取り入れています。水分摂取の促しや腹部マッサージも行っています。</p>		
45	(17)	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>入浴の曜日は決めておりますが、時間帯は希望に合わせて心掛けています。希望者とは週の中で多く入浴ができるようにしています。入浴を楽しんで頂けるように季節浴を実施しています。</p>	<p>希望する時間に入浴している。菖蒲、薔薇、林檎など季節毎に湯船に入れて楽しんでいる。希望に添って足浴を行っている。床暖房された脱衣場、洗い場は使い易く整えられ清潔感がある。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの様子を見ながら状況に応じた支援を心掛けています。夜間眠れない方に対しては職員が付き添ったり、足浴を行ったりしています。</p>		
47		<p>服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>医師の指示通りの服薬をしています。症状の観察をし、何かあればかかりつけ医に相談しています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し、ご本人の得意な事を積極的にお願ひしています。好きな事に対して集中して頂けるように、倶楽部活動を始めました。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩に出かけています。行きたい場所の希望があれば外出企画とし、他の利用者も誘って出掛けています。場所によっては、ご家族に協力して頂いています。	天気の日にはほとんど毎日近所に散歩している。個人から出た外出希望は企画して実現出来るように支援している。遠方への外出希望は家族に相談して協力を得ながら実現に向けている。年1~2回散歩ボランティアがある。隣接事業所のワゴン車で外出は利用者の楽しみとなっている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持したり使えるように支援している	ご本人、ご家族から希望があれば、状況を判断しお金を所持しているケースもあります。一人ひとりお小遣いを預かっており、職員が管理しています。外出時にはそのお財布を持って出かけ、買い物の際に金銭管理ができる方はご自分でお金を支払っています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族より、連絡を取らないでほしい方をあらかじめ聞いておき、希望時にその場に対応しています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間にはソファ、テレビ、本棚を置き、自由にくつろいで頂いたり、談笑できるようになっています。ユニット間も自由に行き来できるように開放してあります。	広い空間にソファ、テーブル、テレビが置かれくつろげる一角がある。利用者が手にしたくなるような雑誌、書籍が本棚に並んでいる。利用者、職員が制作した大型のだるまが床に並び、季節感のあるはり絵工作が壁に飾ってある。居室、浴室、トイレ等の表示は利用者に解り易く表示されている。明るく清潔感がある共用空間となっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お好きな場所で過ごして頂けるようにスペースを設けてあります。余暇時には思い思いの場所で過ごされています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が使い慣れた物を持ち込んで頂いています。希望があった物はご家族に相談し、持ってきて頂いています。ご自分で作った作品や、近くの小学生からもらった手紙を飾っています。	ベット、寝具、大型ロッカーが準備されている。窓からは田園、集落の様子が見渡せる。家族慰問で頂いた品々、自作の作品が飾られている。テーブル、椅子、衣装ケースなど落ち着いて過ごせるよう家族と協力しながら居室を整えている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所が分かるように戸に表示しています。動線の邪魔になる物は置かないように配慮しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人の理念を共有しています。グループホーム独自の理念はありませんが、介護目標を作り、職員間で共有し日々支援しています。</p>		
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域のお祭りに参加させて頂いています。畑の作業を手伝って頂いたり、散歩の途中で声を掛けて頂いたりと関係を築いています。地元のお祭りに菊やだるまを製作し出展しています。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症キャラバンメイトとして地域に貢献できるように検討中です。</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月毎に開催し、利用状況や日々の様子を報告しています。率直な意見を頂き、職員間で共有し、サービス向上につなげています。地域の様子や行事についても情報を頂いています。</p>		
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に市の担当者に参加して頂き情報交換をしています。不明な点や困ったケースがあれば直接担当者に相談をしています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内で年1回研修会を開催し、全職員参加しています。 玄関が死角になっているので、昼夜施錠している状況です。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内で研修会を開催し、全職員参加しています。虐待がないか、管理者が常に確認をしています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設けていない為、理解していない職員が多いと思います。研修内容に組み込んで行けるよう検討していきたいです。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には具体的に細かく説明をしています。不明な点も過去のケースを参考にしながら説明を加えています。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者委員やグループホームの要望・苦情相談窓口を設置しています。ホールには利用者、家族、外部の方、どなたでも投函できる意見箱を設置しています。頂いた意見・要望は解決策と共に、広報誌に掲載しています。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の場で意見交換を行います。年2回管理者との面談も実施し、その場でも意見や提案を聞くようにしています。現場内で解決できないことは上部へ報告し、法人内の会議でも相談しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	年2回(上半期・下半期)能力・業績考課を行い、責任感、知識・技術・チームワーク・企画立案、顧客満足・ケアプラン作成等を評価しています。これらは全てキャリアパス・昇給・賞与等に結びつき、向上心を持って生き生きと働ける職場環境へとつながっています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として、年間研修計画に基づき、職員の育成に努めています。毎月の施設内研修をはじめ、勤続年数、資格取得対象者等、様々な外部研修へ参加して、研修機会確保や職員のステップアップへの取り組みとしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管内の研修において意見交換の機会を設けています。他グループホームの職員と勉強会も行い意見交換を行いました。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人と面談をして直接お話をしています。また、家族や居宅のケアマネジャーより情報を頂き、総合的にご本人の意向に添えるように努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご家族と面談をしたり、入所当日までの間に必要に応じて連絡を取り合えるようにし、ご家族の意向に添えるように努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前にて得た情報とご本人、ご家族からの意向から、まず必要としている支援を見極めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が手を出し過ぎないように見守り、必要な部分のみ介助を行っています。できる事は積極的にやっていただき、職員も教わる姿勢を大切にしています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは密に連絡を取り合い様子をお伝えしています。行事等にご家族がに参加して頂けるように企画し、一緒に過ごして頂く時間を大切にしています。また、面会、外出、外泊を積極的にして頂けるように呼びかけています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係が途切れないように、ご家族にも協力してもらいながら支援しています。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を見ながら作業や活動に誘っています。利用者間のトラブルもありますが、すぐに職員が間に入るように配慮しています。利用者が他の利用者の世話をやいてくれる姿も見られます。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、必要に応じて相談に乗り、次のサービスにつなげています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケア担当者を中心に一人ひとりの意向の把握をしています。ご自分で上手に思いが伝えられない方もいますが、アセスメントを行いひもといっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご家族や居宅のケアマネジャーより情報を頂いたり、ご本人よりお話をうかがい把握しています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録より読み取り、職員間で情報交換、共有をしています。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア担当者を中心にアセスメントを行い、課題の抽出をしています。カンファレンスにはご本人、ご家族にも参加して頂き、意向の確認をしながら介護計画を作成しています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入と、介護計画に添っているかの確認を毎日行っています。そこから、出ていない事を周知したり介護計画の見直しをしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズに対応できるように努めています。ご本人、ご家族が相談しやすい体制を整えています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の保育園、学校との交流会を数多く行っています。地域のボランティアの方にも環境整備、作業の補助、散歩の付き添いなどご協力頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医を継続して受診して頂いています。情報提供をしたり、必要に応じて受診の付き添いも行っています。</p>		
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員は常勤しておりませんが、法人内の特養が隣接しており、そちらの看護師と連携を図っています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中に病院との連絡を密に取り合い、退院に備えています。退院後の生活の相談も行っています。</p>		
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護は行っていません。入所時ご家族へ説明をし理解して頂いています。状態の変化を見ながらその都度ご家族へ伝え、今後について相談をしています。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全職員が救命救急講習を受講しています。法人内でも定期的に研修会を開催し、参加しています。</p>		
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、地元の消防署員にも参加して頂き防災訓練を実施しています。内1回は夜間に実施しています。地元勝間地区とは防災協定、行方不明者捜索協定を締結しています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎年接遇研修を開催し、全職員参加しています。不適切な対応に付いては、会議等で話し合い、周知しています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が選択しやすいような聞き方を心掛けています。思いを口に出来ない方も、アセスメントを通して思いを汲み取れるように努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースで生活できるような支援を心掛けています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時、行事の日には特におしゃれをして頂けるように職員も一緒に服を選びます。女性利用者へはお化粧品もします。毎朝のモーニングケアも丁寧に行っています。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を献立に取り入れたり、一緒に買い物に行った際に食材を選んで頂いています。食材の買い出し、調理から片付けまで利用者と職員が協力して行っています。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は毎食記録し確認しています。献立は職員が交代で立てていますが、なるべく栄養バランスが良くなるよう、意見を出し合いながら行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアを促し、できる限りご自分でやって頂きます。その後、口腔内を確認し、不十分な部分を介助し清潔保持に努めます。</p>		
43	(16)	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表に記録し、個々の排泄パターンを把握しています。夜間も睡眠の妨げにならないよう配慮しながら、個々に合ったタイミングで声をかけています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日運動ができるように、アクティビティーに取り入れています。水分摂取の促しや腹部マッサージも行っています。</p>		
45	(17)	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている</p>	<p>入浴の曜日は決めておりますが、時間帯は希望に合わせて心掛けています。希望者は週の中で多く入浴ができるようにしています。入浴を楽しんで頂けるように季節浴を実施しています。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの様子を見ながら状況に応じた支援を心掛けています。夜間眠れない方に対しては職員が付き添ったり、足浴を行ったりしています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>医師の指示通りの服薬をしています。症状の観察をし、何かあればかかりつけ医に相談しています。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの生活歴を把握し、ご本人の得意な事を積極的にお願ひしています。好きな事に対して集中して頂けるように、倶楽部活動を始めました。</p>		
49	(18)	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日には散歩に出かけています。行きたい場所の希望があれば外出企画とし、他の利用者も誘って出掛けています。場所によっては、ご家族に協力して頂いています。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金の所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人、ご家族から希望があれば、状況を判断しお金を所持しているケースもあります。一人ひとりお小遣いを預かっており、職員が管理しています。外出時にはそのお財布を持って出かけ、買い物の際にできる方はご自分でお金を支払っています。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご家族より、連絡を取らないでほしい方をあらかじめ聞いおき、希望時にその場で対応しています。</p>		
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間にはソファー、テレビ、本棚を置き、自由にくつろいで頂いたり、談笑できるようになっています。ユニット間も自由に行き来できるように開放してあります。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お好きな場所で過ごして頂けるようにスペースを設けてあります。余暇時間には思い思いの場所で過ごされています。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が使い慣れた物を持ち込んで頂いています。希望があった物はご家族に相談し、持ってきて頂いています。ご自分で作った作品や、近くの小学生からもらった手紙を飾っています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所が分かるように戸に表示しています。動線の邪魔になる物は置かないように配慮しています。		

目標達成計画

作成日:平成29年2月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	「非常防災マニュアル」が自然災害全般に適応した内容になっていない。	「非常災害マニュアル」の見直しをし、自然災害全般に適応した内容にする。職員に周知する。	全職員でマニュアルの読み合わせをし、内容を検討し直す。 誰でも分かりやすい表現で、見やすい内容にし、周知する。	3ヶ月
2	6	死角になる戸を常時施錠している。	戸の施錠を解除する。	職員会にて職員の意識調査と今後について話し合う。 施錠を解除した場合のリスクを考慮した対応策を考える。	3ヶ月
3	1	事業所独自の理念がない。	事業所独自の理念を掲げる。	職員会にて話し合いをして決定する。 (平成28年12月決定)	0ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。